

日本消防



- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中
- 第50回消防団幹部特別研修を開催
- 全国消防殉職者遺族会理事会を開催

口 絵 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」
第50回消防団幹部特別研修、全国消防殉職者遺族会理事会

巻頭言 「8.5cmの生涯をかけた消防人生」の勧め……………	(公財)福島県消防協会 会長 吉田 秀一 ……	1
日消の動き 日本消防、いろいろな課題へ……………	(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文 ……	3
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介……………	(公財)日本消防協会 ……	4
東西南北 (新潟県)「目指そう 災害に強い見附市」……………	見附市消防団 団長 田崎 隆 ……	8
東西南北 (島根県)「安全で安心なまちづくりを目指して」……………	雲南市消防団 団長 妹尾 芳行 ……	10
東西南北 (佐賀県)「絆でつなぐ地域づくり」……………	大町町消防団 団長 山下 賢司郎 ……	12
シンフォニー (富山県)「もう一度見つめ直して」……………	富山市消防団八尾方面団 部長 小森 絹代 ……	14
都道府県における消防操法大会の結果……………	(公財)日本消防協会・都道府県消防協会 ……	16
第50回消防団幹部特別研修を開催……………	(公財)日本消防協会 ……	26
「全国消防殉職者遺族会理事会」を開催……………	全国消防殉職者遺族会 ……	28
消防団加入促進への取組み 5ヶ月間で例年の3倍の入団者が…！……………	山形県 山形市消防団 ……	29
消防団加入促進への取組み 看護学生への消防団加入促進の取組み事例……………	三重県 松阪市消防団 ……	30
消防団加入促進への取組み 将来的な消防団員の確保のために		
～小学生向け松江市消防団副読本“地域を守る消防団のしごと”を制作して～……………	島根県 松江市消防団 ……	32
令和5年版 消防白書の概要……………	総務省消防庁 総務課 ……	34
令和6年3月1日(金)から7日(木) 春季全国火災予防運動を実施します！…	総務省消防庁 予防課 ……	42
林野火災を防ごう！～全国山火事予防運動～……………	総務省消防庁 特殊災害室 ……	43
うちの名物団員……………	新潟県、富山県、島根県、香川県 ……	44
消防団の広場(香川県)「今後の消防団のために」……………	三木町消防団 団長 筒井 英明 ……	46

編集後記

表紙写真説明

「つり飾り展」(新潟県見附市)

見附市では毎年、まちの駅ネーブルみつけにて、「つり飾り展」が開催されます。

同イベントは、市内外の手芸サークルなどから作品を公募。毎年の干支をモチーフにした愛くるしい作品や、桜など春の訪れを感じるような作品が約750点飾られ、訪れた人たちを楽しませています。

写真提供者：新潟県消防協会

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！

(公財)日本消防協会

(4頁～7頁に掲載)



令和5年
11月放送分に出演の
榎原郁恵さん

令和5年
12月放送分に出演の
浅香 唯さん



令和6年
1月放送分に出演の
ダニエル・カールさん



第50回消防団幹部特別研修を開催

令和6年1月16日(火)から19日(金)

(26頁・27頁に掲載)



全国消防殉職者遺族会理事会を開催

令和6年1月26日(金)

(28頁に掲載)



「8.5cmの生涯をかけた消防人生」の勧め

(公財)福島県消防協会 会長 吉田 秀一



1. 逆境から立ち上がった福島県

福島県は、北海道、岩手県に次ぐ、全国第3位の面積を有し、関東圏と接する東北地方の南の玄関口に位置します。

また、地形や気候、歴史や文化など、その特性の違いから、3つの地域に区分され、太平洋に面し、スパリゾートハワイアンズや、相馬野馬追などでも有名な「浜通り」、東北新幹線や東北自動車道などの交通アクセスに恵まれ、花と果樹が豊かな、県土の中央に位置する「中通り」、そして、県土の西側に位置し、白虎隊や仏教文化などの歴史と伝統に加え、猪苗代湖や磐梯山、尾瀬などの豊かな自然に恵まれた「会津」に、59市町村およそ177万人の人々が暮らしています。

そうした中、本県は、2011年3月11日三陸沖で発生した巨大地震による大津波に加え、東京電力第一原子力発電所事故によって、甚大な被害を受けましたが、その後、県民の懸命な努力と、国内外からの多くの支援を受け、現在着実に復興の歩みを続けています。

2. 当協会の概要

本協会は、明治42年に設立されて以来、115年の長きにわたり、消防思想の普及啓発と、地域住民の生命・身体・財産を守る消防団員等の育成強化、さらには、その活動の支

援を通して、地域防災力の充実に取り組んできました。現在59の消防団と12の消防本部のおよそ3万2千人で構成されています。

そして、消防団への加入促進、各種研修会の開催、共済事業等の充実を図ることを通し、消防団員と消防職員が、安心して活動できるとともに、自らの職務に自信と誇りをもって活動のできる環境の整備に努めています。

しかし、本県も例外ではなく、消防団員は毎年減少を続けており、現在、条例定数を5千人以上下回り、被雇用者団員の割合は、現在79.2%と高いことから、加入促進に向けた経済団体への協力要請を行う一方、各種支援制度の整備などに、鋭意取り組んでいます。

3. 己にとって消防とは何か

消防団のあり方等については、これまでも多くの関係者が言及していますので、私は、違う視点から、消防団及び消防団員の将来について、その思いを綴りたいと思います。

さて、近年世界各地では、異常気象も相まって、大規模な自然災害が頻発し、さらに、激甚化、複雑化の様相を呈しています。

しかし、我々は、人類の未来のために、この地球を脅かすこうした脅威に、敢然と立ち向い、これを乗り越えていかねばなりません。

そして、これこそが、我々消防人に課せら

れた使命と役割であることを、あらためて胆に銘じなければなりません。

ところで、地球と言え、いつ誕生したのか、ご存じでしょうか。

およそ46億年前と言われています。

しかし、あまりに桁が大きすぎて、時間的な概念では、理解することができません。

そこで、これを距離に換算してみました。

するとどうなるか。1年を1mmと換算すれば、46億年は46億mm、kmに直せば4,600kmとなります。日本列島の長さが、択捉島から、与那国島まで、およそ3,300kmと言いますから、地球の長さは、およそその1.4倍ということになるのです。

一方、人類と言え、祖先である猿人の誕生が400～300万年前ですので、4～3kmといったところ。その後、原人に続き、新人が誕生したのが、およそ20万年前ですので、距離にすれば、200mとなります。

また、西暦すなわちイエスキリストが誕生した翌年から現在までが、2024年なので、距離は2mと24cm。

そして、我々人間の寿命と言え、85年ほどですので、8.5cmとなるのです。

つまり、日本列島のおよそ1.4倍もの長い地球の歴史の中で、我々の生きる長さなどは、僅か8.5cmに過ぎないということになります。

そう考えると、人間の存在がいかにちっぽけなものであるかを、思い知らされますが、なればこそ、この僅か8.5cmの人生をどう意義あるものとして全うするのが、問われるのではないのでしょうか。

そして、一度きりの人生なればこそ、今を生きる時代の中で、その生きた証を、しっかりと残していかなければならないのです。

もとより、人間が社会的な生き物である以上、自分の生きる社会や地域と、何らかの関わりをもって生きていかねばなりません。

とするならば、人の命と暮らしを守る消防は、それを体現し得る、まさに現代社会の中でも、大いに価値のある、重要な努めであり役割であると言えるものと思います。

私は、消防団を確かな組織としていくためには、消防団員一人ひとりが『己にとって消防とは何か』ということ、真剣に考えてもらえるよう、事あるごとに、この思いを語り続けていきたいと、そう思っています。

4. 結びに

己のためだけに生きることはたやすい。

しかし、果たしてそれだけでいいのか。

人間の本当の価値は、己を虚しゅうして、いかに他人様のために力を尽くすことができたかにあると、私は思っています。

よく「近頃の若者は、価値観が変わって、束縛されること、人と関わることを嫌う傾向がある」などと言われますが、果たしてそうなののでしょうか。彼らも、間違いなく地域を愛し、家族を愛する心は同じなはず。

思えば、我々として、若い頃は、消防団に入ることを嫌う人間は少なくなかったはずで、様々な災害現場を体験し、多くの仲間や地域の人々と触れ合う中で、消防への思いを確かなものにしてきたのではないのでしょうか。

さればこそ、私たちが今できることは、消防に向き合う真剣なその背中を、きちんと見せてやること以外にないのかもしれない。

ともあれ、多くの仲間が、ともに手を携えて活動できる社会の到来を信じ、愚直に消防活動に取り組んでいきたいと思えます。

日本消防、いろいろな課題へ

(公助) 日本消防協会 会長 秋本敏文

正月早々の能登半島地震、さらに羽田空港事故、相次ぐ火災には驚きましたね。

関東大震災から100年余、阪神淡路大震災から30年など、これまでの大災害から相当年数を経た節目の年のようにも感じます。そして、明治27年の消防組(現在の消防団)発足、言いかえれば、日本全国の消防体制スタートから130年など消防制度の歴史でも節目の年だと感じさせられます。

そのような今年、新しい日本消防会館が完成します。本当に多くの方々のご支援ご協力のおかげで完成です。言葉だけの感謝では足りません。やっぱり新会館を建設してよかったな、と評価されるような運営、活用をしなければなりません。

その基本は、日本消防の益々の発展に貢献し、また、消防業務を管理して頂いている地方自治の一層の発展のお役に立たなければなりません。

消防は、しばしば指摘されていますように、地球規模の環境変化を背景とする災害の様相変化、大規模化、多発化、そして地域社会など社会経済の変化に対処して、国民の皆様の安全確保の使命を果たすよう努力しなければなりません。益々ご苦労ご苦心が大きくなっています。

少し具体的に考えますと、災害の発生予測や被害状況等の情報の収集、伝達、共有、活用が益々重要になっています。そして、災害への具体的な対応、そのための人的体制の充実、必要な装備の確保が大事ですし、これらについても、社会の変化、新しい技術の導入などを進めなければなりません。

そのように考えながら、新しい日消会館の活用による貢献を思いますと、本当にいろいろなことをしなければならないなあということになります。これまでも、新会館完成後、いろいろなシンポジウムなどを実施する予定と申しあげていますが、その時に取りあげて頂くテーマ、具体的な問題は益々多岐にわたらざるを得ないのではないかと思います。そのことにも関係するかと思いますのは、新会館内には「消防関係者のたまり場」という、巾広い消防関係の皆さんが、何かのご用で虎ノ門方面においでになった時、地方から上京されお時間がある時などにご自由にお立寄り頂き、ザックバランにお話をしをして頂けるスペースを用意しようと思っています。新しい技術を導入した新装備の研究、火災、水害、土砂災害などさまざまな災害体験のなかで、再発防止のための対策、課題として考えられたことなど、いろいろな現場発のお話があれば、これをどう活かすかというようなこともあり得るかなと思ったりします。

とに角、新しい日本消防会館はさまざまに全館を活用して、巾広い視野のもとに日本消防の一層の発展に貢献できるよう努力しなければなりません。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和5年11月から令和6年1月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和5年11月放送分に
出演の消防応援団
榎原郁恵さん

11月4日又は5日放送



岩手県
北上市消防団
班長
谷村 歩さん

ステキなお声のひろたさんと元気な郁恵さんとお話ができて嬉しかったです。これからますます活動の幅を広げ、仲間を増やして、たくさんの方々に防災の大切さを伝えられたらと思います。よい機会をいただき、ありがとうございました！

11月11日又は12日放送



(公財)香川県消防協会会長
香川県
高松市消防団
団長
長尾 庄司さん

この度は、高松市消防団及び香川県消防協会の紹介をさせて頂きありがとうございました。今後とも、各種災害に対応できるよう努めるとともに、これを機会に少しでも多くの若い団員が入団し、市民が安全で安心に暮らせる街づくり、そして信頼される消防団を目指してがんばります。

11月18日又は19日放送



大阪府
泉大津市消防団
班長
和田 みゆきさん

『人生は奇跡の連続で出来ている』素敵なお縁と貴重な経験、楽しい時間をありがとうございました！お二人からエールもいただき、これからの消防団活動の励みになります！今後も自分のスキルを活かしながら、様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

11月25日又は26日放送



愛知県
安城市消防団
班長
朝倉 壱也さん

今回のラジオを通して、少しでも多くの方に消防団の活動について知って頂きたいです。また、大学生や自分と同じ年代の方々に消防団に対して興味や魅力を感じて頂けると嬉しく思います。この度はラジオ出演という貴重な機会を頂きありがとうございました。



令和5年12月放送分に
出演の消防応援団
浅香 唯さん

12月2日又は3日放送



高知県
南国市消防団
団長
徳久 靖洋さん

この度は、南国市消防団を紹介する機会をいただきまして、ありがとうございました。

高知県は、南海トラフ地震の発生が予想されています。

消防団を魅力のある組織にして団員確保に繋げ、活動をと
おして南国市の防災・減災に取り組んで行こうと思います。

12月9日又は10日放送



佐賀県
鳥栖市消防団
団員
松隈 圭史さん

めったにできないラジオ出演+浅香さんとお話して緊張
するとともに楽しい時間を過ごさせて頂きました。キッズ消
防団員の親としても、身を引き締めて防災・広報・訓練に動
じみたいと思います。

家族や会社、地域の方々のご協力により消防団活動ができ
ている事をここに感謝致します。

12月16日又は17日放送



茨城県
北茨城市消防団
団長
小野 國光さん

初めは緊張しましたが、ひろたアナウンサー、浅香唯さん
の声を聞いて徐々に和みました。北茨城市消防団を紹介する
ことができ、嬉しく思います。

今後とも地域の方々から、親しまれる消防団を目指してい
きたいと思います。

12月23日又は24日放送



滋賀県
彦根市消防団
団員
伊丹 絵梨さん

このラジオを聴いてくださった方が少しでも消防団という
ものに興味を持って頂ければいいなという思いで、出演させ
て頂きました。またこれを機に、私自身も他の地域の消防団
員の方々の活動を知ることができました。貴重な機会があり
がとうございました。



令和6年1月放送分に
出演の消防応援団
ダニエル・カールさん

1月6日又は1月7日放送



徳島県
東みよし町消防団
副団長
山田 明輝さん

放送を通じて、人間として、消防人として大切なことは「人を思いやる心を持つ」ことの大切さに気づきました。大人であれ子供であれ、他人を愛し、地域を愛する気持ちを持ち続けて周りの人と共に助け合い地域を守っていききたいと思っています。

「平和で安全な！ニッポン全国消防団」

1月13日又は14日放送



東京都
板橋消防団
第5分団
部長
清水 成恵さん

全国女性消防操法大会の成績を経て、ラジオ出演の体験をさせて頂きとても光栄です。ご質問頂いた内容にも言いたい事が、たくさんあってまとまりのない応答になってしまったのではないかと不安もありますが、少しでもこの大会に尽力してくださった皆様へ感謝の気持ちが伝わったなら幸いです。

1月20日又は21日放送



福島県
いわき市消防団
班長
菅波 豊さん

貴重な機会ありがとうございました。ダニエル・カールさんの優しい語り口で和やかな雰囲気で収録することが出来ました。カールさんのような応援団の存在が私たち消防団員の励みになります。

今後も全国消防団員の日頃の頑張りを紹介してもらえれば幸いです。

1月27日又は28日放送



鳥取県
米子市消防団
分団長
中村 正吾さん

大変貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

全国的に団員確保が重要課題であります米子市内での活動を紹介出来て良かったと思います。分かりやすい活動内容を発信して興味を持って貰える様にこれからも頑張っていきたいと思っています。

「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道		(株) S T V ラ ジ オ	日	5:50~6:00	
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) I B C 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	(株) 秋田放送	日	6:15~6:25	
	山形	(株) 山形放送	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラ ジ オ 福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	東海ラジオ放送(株)・ニッポン放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:15~6:25	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	大阪	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	兵庫	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	奈良	(株)和歌山放送・大阪放送(株)	土・日	6:30~6:40 6:00~6:10	一部地域は大阪放送
	滋賀	東海ラジオ放送(株)・大阪放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:00~6:10	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株)中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	(株) 山口放送	土	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラ ジ オ 沖縄	日	6:35~6:45	



「目指そう 災害に強い見附市」



見附市消防団 団長 田崎 隆

1 見附市の紹介

見附市は南北に長い新潟県の「どまんなか」に位置し、令和5年12月1日現在、人口は38,593人、総面積は県内20市の中で一番小さく77.91km²、市の中心を分けるように信濃川水系の一級河川刈谷田川が流れ、鮭が遡上する清流と緑豊かな里山が広がっています。また、越後平野の一角を担う広大な田園地帯を有しており、春の芽吹き、夏の深緑、秋には黄金色の稲穂、そして冬の銀世界と四季折々の風情を味わうことができます。

昭和29年に誕生した当市は、今年で市政70周年を迎えようとしています。平成の大合併で近隣市町村が合併を選択する中、合併を選ぶことなく独自のまちづくりを歩むことを決めた当市は、将来を見据えたランドデザインを掲げ、住んで

いるだけで健康で幸せになるまち「スマートウェルネスみつけ」を目指し、健康施策、子育て施策の推進に、地域コミュニティーや市民と協働し「みつけならでは」のまちづくりを進めています。

2 見附市消防団の紹介

明治27年、勅令公布により見附町消防組として組織されました。昭和14年に見附町警防団を創設。昭和29年3月の市制施行に伴い、名称を現在の見附市消防団に改め、組織を8分団42部としました。現在は本部分団及び8分団47部、団員数486名(令和5年12月1日現在。基本団員460名。うち女性団員10名。機能別団員26名。)で構成されており、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車39台を配備。昼夜を問わず地域住民の安心、安全のため活動に取り組んでいます。

3 見附市消防団の活動

見附市消防団は、1月の見附市消防出初式での団長訓示で士気を高めることから新年の活動が始まります。消防団活動の基本となる訓練においては、4月に幹部団員が講師を務める新入団員への教育





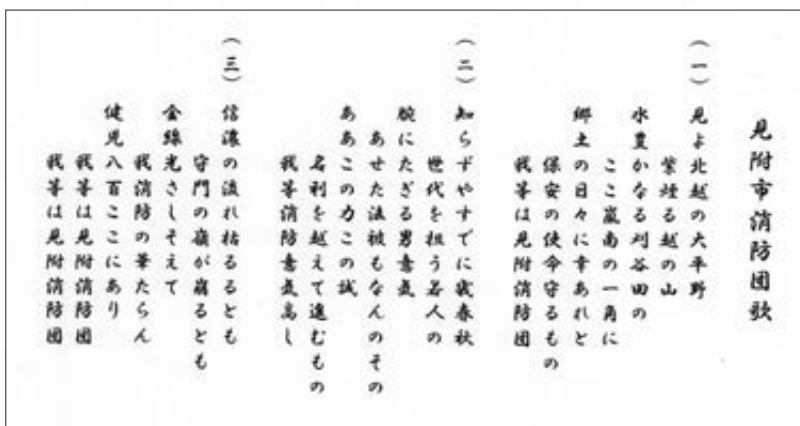
訓練及び部長、班長を対象とした幹部講習を実施し、5月下旬からは分団毎に地域と連携した火災防ぎよ等の訓練を実施して規律や技術の習得に努めています。

また、応急手当指導員の資格を有する女性消防団員を中心に、応急手当指導やイベントでの広報活動など、消防団のPRにも積極的に取り組んでいます。

4 おわりに

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、イベント参加や活動が徐々にコロナ禍前に戻ってきています。

そんな中、当市では昭和44年以来2度目となる第74回新潟県消防大会が令和5



年8月6日に開催されました。当日は35度を超える猛暑の中、事故なく終えられたことは、ひとえに関係各位のご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

消防団は地元に密着した防災の要です。近年、災害が多種多様化し、更には複雑化しています。有事の際「想定外だった。」と言わないよう訓練に取り組み、団員一人一人が防災の意識をより一層高め、災害に強い見附市になるよう更に取り組みを進めて行きます。



「安全で安心な まちづくりを目指して」



雲南市消防団 団長 妹尾 芳行

1 雲南市の紹介

雲南市は島根県の東部に位置し、北部は県都松江市と出雲市に隣接し、南部は広島県に接しています。市の総面積は553.18km²で、人口は約3万5千人。面積は島根県の総面積の8.3%を占め、その大半が林野です。平成16年11月1日に大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、吉田村、掛合町の6町村が合併し、誕生しました。

雲南市にはヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川が流れ、各地に神話や伝説、神楽などが伝承されています。また、豊かな森林や河川、滝など、中山間地域ならではの豊かな自然環境に囲まれています。市の花である桜は市内各地に桜並木があり、地域の皆さまに親しまれています。特に「斐伊川堤防桜並木」は日本さく

ら名所百選に選定され、中国地方随一のさくらの名所として花の見ごろには、多くの観光客でにぎわいます。

2 雲南市消防団の紹介

雲南市消防団は、平成16年11月1日に6町村の合併により、条例定数1,442名で発足しました。その後、人口減少や少子高齢化を背景に消防団員の確保が困難になったことを受け、組織の再編を行い、現在は、1本部、6方面隊、27分団、74部、条例定数1,212名で構成しています。

令和5年11月1日現在の団員数は、1,103名、主な消防団装備については、消防ポンプ車12台、小型動力ポンプ付き積載車71台を保有し、火災等の災害に備え活動をしています。

3 雲南市消防団の活動

雲南市消防団の活動は、4月に任命式・新入団員研修会、6月には斐伊川流域自治体に参加する水防演習、11月には秋の火災予防運動に併せて市内一斉予防啓発活動、1月には消防出初式といった活動を実施しています。この他にも、各方面隊で計画される火災想定訓練や夏祭りの花火警戒、火災予防広報活動、部隊訓練



斐伊川堤防桜並木



令和3年7月豪雨災害

などの活動をしています。

令和3年7月に雲南市で発生した豪雨災害では、最も多い地域で時間雨量100mmを超える降雨が観測され、雲南市全域に緊急安全確保が発令されました。多くの消防団員が発災直後から警戒活動に従事し、被害の拡大防止や早期復旧のために活動しました。これらの経験を踏まえ、令和3年度末には、風水害時の活動の基本事項をまとめた「風水害時活動マニュアル」を作成しました。また、令和4年度からは雲南市が主催する重機操作研修に参加し、災害時の応急復旧で重機操作ができる人材の育成を行っています。令和3年の豪雨災害を受け、災害時における消



重機操作研修

防団員の果たす役割の重要性が再認識されたと思います。

今後の活動としては予防・啓発活動に代表される火災を発生させない取り組みを強化するとともに激甚化する自然災害に対応する訓練をしていきたいと考えています。

4 おわりに

雲南市消防団も全国の多くの消防団と同様に、少子高齢化に伴う団員数の減少や社会情勢の変化などの問題を抱えています。地域防災に必要な消防団を将来にわたって維持していくためには、消防団への理解促進や消防団員が活動しやすい体制づくりを今後も行っていく必要があります。また、消防団員はもとより、家族・職場・地域の皆さまの協力あつての消防団です。今後も雲南市の「安全で安心なまちづくり」、「無火災のまちづくり」を目標に消防防災活動に励んでいきたいと思っています。



「絆でつなぐ地域づくり」



大町町消防団 団長 山下 賢司郎

●大町町の紹介

佐賀県のほぼ中央部に位置し、町域は11.50km²と県内で最も面積が小さい町です。

等高線がほぼ東西に走り、北に聖岳・鬼の鼻山山系から南は白石平野を大きく蛇行する六角川に至ります。

明治から大正にかけて炭鉱採掘が急成長し昭和16年には人口2万4千人を数え、昭和33年には小学校児童数4千人を超える、日本一の過密校となったこともあったが、昭和44年に国のエネルギー政策の転換により炭鉱は閉山しました。以来今日まで様々な街づくり、地域づくりを進めてられています。

●消防団の紹介

大町町消防団は、2分団、1本部、8部で構成し令和5年4月1日現在190名で活動しています。機能別団員及び女性消防団員も任用し、災害時などに備えています。

消防ポンプ自動車3台、小型動力ポンプ積載車6台を各部で保有しています。

●活動状況

年間を通し式典や火災予防運動、年末警戒などを実施するなか、近年は新型コロナウイルス感染症拡大により全団員での活動は縮小していましたが、感染症の基準見直しにより全団員での訓練等も再開できる状況となってきました。

訓練の中では、例年中継送水訓練など行い、町が実施する花火大会では警戒態勢をとるなど、実践にもつながっています。また、令和元年に大雨による浸水災害を受け、各部に救命ボートを配備されたことから、年に2回ため池を活用し、ボート操作及び救命時に建物等接近する場合の注意点や救助者の乗降補助などを想定し行い、有事に備える訓練を行っています。



女性消防団の救命講習



新入団員の個別訓練



令和3年災害救命ボートによる救助活動



災害ゴミ置き場での活動

また、女性消防団は訓練にあわせて救命講習を受講するなど、的確な行動や知識の向上も行っています。

●災害への対応

近年温暖化による異常気象が多く、線状降水帯の発生やゲリラ豪雨により、全国各地で災害が発生しており、当町でも令和元年8月、3年8月と2年の間に2回の大雨災害が発生しました。

大雨による浸水被害や山間部の崩落など約30年ぶりの災害となりました。

消防団では、地域の見回りや避難誘導などを行い、令和3年災害では令和元年災害の後に消防団に配備した救命ボートによる浸水地区の救助活動を行いました。

また、床上浸水被害を受けた場合、畳や家具など災害ゴミが発生し処分する必要があるため、町が開設する集積場での廃棄物等の積み降ろし作業など被災者支援の対応を行いました。

●終わりに

当町においても過疎化による少子高齢化、人口減少と合わせて団員数も減少傾向にあります。団員一人ひとりの力を集結できるよう訓練等を行い、火災を始め異常気象による自然災害にも対応できるよう、地域との連携を深め、地域の防災力の向上を図り安心、安全な町づくりに繋がりたいと思います。



シンフォニー（富山県） 「もう一度見つめ直して」

富山市消防団八尾方面団 部長 小森 絹代

富山県といえば、立山黒部アルペンルートや寒ブリに白えびと、山にも海にも恵まれて、自然がいっぱいの魅力的なところ。私の住んでいる富山市八尾町は富山県のほぼ中央に位置し、9月1日から3日まで行われる【越中八尾おわら風の盆】が全国的に有名です。稲穂が色づき秋の気配がしてくる頃、おわらの踊りを継承している地区では準備に追われます。小学校のこども達から若者まで踊りの練習に毎夜集まり、本番に備えます。優美でしっとりとした女踊り、力強く歯切れのよいきっちりとした男踊り、踊り子達に天から魂が舞い降り、乗り移ったような気がする程で、見入ってしまうのは私だけではないでしょう。伝統を受け継ぎ、地元愛にあふれた人達が暮らすところです。

私たちの富山市消防団は10の方面団で構成され、団員数は、令和5年4月1日現在、1,979名で、そのうち女性が112名です。私が所属する八尾方面団の女性団員は15名。20歳か

ら64歳までと幅広いのですが、私を筆頭に年配者が多く、中堅となる30代の団員がもう数名いてほしいと感じています。

主な活動内容は、保育園や幼稚園での防火教室(大きな紙芝居、手作り消防車のクイズ、寸劇など)、ひとり暮らし高齢者家庭への防火訪問、春や秋に実施される消防総合訓練への参加、応急手当普及員として救命講習のお手伝い、住宅用火災警報器の設置・維持の広報などで、最近は新入団員勧誘活動にも力を入れています。

去年は、私たち八尾方面団女性団員にとって、大変貴重な経験をすることができました。第25回全国女性消防操法大会への出場です。

チーム作りが始まったのは令和元年。まずは女性団員全員で訓練礼式から始めることにしました。訓練礼式が身についてきたところで、ホースを延ばして、走って、形を覚えて、歩数も合わせて、何度も何度も繰り返し練習に励みました。操法全体を覚えることができた頃、コロナ感染が広まり、令和3年度に行われるはずだった大会は延期が決まりました。練習もストップせざるを得なくなり、みんな気が抜けてしまい、落胆しました。その後も幾重にも襲う感染拡大の波、度重なる大会延期決定。

それでも、みんな諦めませんでした。

対面で訓練ができるようになった令和4年5月には、マスク着用や手指消毒など感染防



幼児防火教室の様子



県下操法大会

止に留意しながら週に一度の練習を再開しました。

延期となっている中、操法の実施要領が変更となり、前半の整列から定位についてポンプを回す動作が省略されたのです。私たちは変更戸惑いながらも、新しい操法に取り組みました。この変更により操法タイムの良し悪しが成績に直結するだろうと予想し、スピードを磨きました。かつ、行動減点も無いようにと、日を追うごとに厳しい練習になっていきました。連日の猛暑の中でも、選手がホースを延ばせば、サポートの人が巻き、巻き終えたら、また延ばし…。

みんなそれぞれ仕事を終えてから操法の練習、家に帰ってから家事と、みんな大変だったと思います。おわらの踊り子をしている団員は、操法練習のあとに踊りの稽古に行く人もいました。みんな苦労しましたが、励ましあい続けることができました。

大会出場を振り返ってみますと、何より収穫は、みんなが苦労の中にも楽しく充実感を感じ、成長し、お互いの信頼と結束が生まれました。この経験は私たちの大きな財産となりました。

また、指導にあたっていた八尾消防署の皆さんには感謝の心でいっぱいです。なかなか進歩が見られない私たちに困惑し、なんでも頼るなど自主性が無いように思われた



全国女性消防操法大会

時もあったと思います。でも、今では同じ目標に向かって時間を共有できたことで、お互いにいい経験をした、いい勉強になったと言い合え、これまで以上に親近感をもって署員の皆さんと接する関係性を作れたことも大きな収穫です。

大会が終わり、数ヵ月経った今、私たちのこれからの活動について、もう一度見つめ直しています。

富山は地震をはじめ災害が少なく、防災意識が低いと言われています。でも近くには地震発生確率の高い呉羽山断層がありますし、この夏には富山県に観測史上初めて線状降水帯が発生し、浸水被害も出ています。災害は他人事ではありません。私たちは地元愛にあふれた地域の人達に【自分達の命、財産は自分達で守る。】という気持ちを広め、防災・防火意識を高めていただく活動をより活発化していきたいと考えています。

そして、それを担い伝えていく私たちが、生き生きと楽しく活動し、女性消防団員の入団など更に輪を広げていく必要があります。まずは、私たちが楽しく、生き生きとやっていくためにはどうしたらいいか、団員みんなと話し合います。かしこまった会議ではなく、ざっくばらんに話せる雑談で。

世間話も含めて、手作業をしながら一。ちょっと肩の力を抜いて一。

都道府県における消防操法大会の結果

(公財)日本消防協会・都道府県消防協会

(公財)日本消防協会では、消防団員の消防技術の練磨と士気高揚を目的に、全国で開催される消防操法大会に要する経費について、消防団員等福

祉共済事業の援助を受けて交付しています。令和5年度の各都道府県消防操法大会の開催結果は、次のとおりです。

☆北海道

7月21日(金) 北海道消防学校

小型ポンプ操法

【優勝】 滝川地区広域消防事務組合 芦別消防団

【準優勝】 北見地区消防組合 端野消防団

【優良賞】 砂川地区広域消防組合 奈井江消防団、旭川市消防団

北海道と公益財団法人北海道消防協会との共催により「令和5年度北海道消防操法訓練大会」が江別市にある北海道消防学校で行われました。

本年度は小型ポンプ操法の部に道内各地域を代表した12消防団の精鋭が出場隊の所属する団長、消

防長らが見守る中で日頃の成果を競い合いました。

大会は審査の結果、滝川地区広域消防事務組合 芦別消防団が優勝の栄に輝き、準優勝は北見地区消防組合端野消防団、優良賞には砂川地区広域消防組合奈井江消防団、旭川市消防団がそれぞれ入賞しました。



☆秋田県

8月19日(土) 秋田県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 鹿角市消防団第5分団

小型ポンプ操法の部

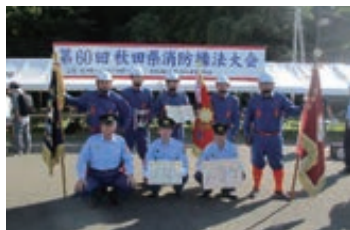
【優勝】 美郷町消防団第2分団

軽可搬ポンプ操法の部

【優勝】 大仙市女性消防隊

第60回秋田県消防操法大会が由利本荘市の秋田県消防学校で行われ、県内9支部の予選を勝ち抜いたポンプ車操法の部7分団、小型ポンプ操法の部9分団と軽可搬ポンプ操法の部に県内から2隊の女性消防隊が出場し、日頃の訓練の成果を競いました。

軽可搬ポンプ操法の部優勝の大仙市女性消防隊が第25回全国女性消防操法大会の出場権を獲得しました。



☆新潟県

8月6日(日) 見附市立西中学校 グラウンド

ポンプ車操法の部

【優勝】 聖籠町消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 村上市消防団朝日方面隊第3分団

見附市において、「第74回新潟県消防大会」を開催しました。

コロナ禍で中止が続き4年ぶりとなった本大会には、ポンプ車操法の部に9チーム、小型ポンプ操法の部に18チームが猛暑の中、訓練の成果を遺憾なく発揮し、ポンプ車操法の部では、聖籠町消防団が、小型ポンプ操法の部では村上市消防団朝日方面隊第3分団が優勝しました。午後から開かれた消防大会で入賞チームへの表彰が行われました。



☆東京都

10月14日(土) 東京消防庁消防学校
(東京都消防訓練所)

ポンプ車操法の部

【優勝】 大島町消防団

【準優勝】 瑞穂町消防団

【第三位】 三鷹市消防団、武蔵村山市消防団

可搬ポンプ操法の部

【優勝】 大井消防団

【準優勝】 王子消防団、矢口消防団

【第三位】 小石川消防団、石神井消防団、
西新井消防団

第51回東京都消防操法大会が東京消防庁消防学校(東京都消防訓練所)において開催されました。大会には24隊が出場し、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮しました。



☆千葉県

7月22日(土) 千葉県消防学校

ポンプ車操法の部

【最優秀賞】 匝瑳市消防団

【優秀賞】 市川市消防団

【優良賞】 四街道市消防団

小型ポンプ操法の部

【最優秀賞】 市原市消防団

【優秀賞】 成田市消防団

【優良賞】 市川市消防団

大会は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことから、開催規模を前年度より拡大し、一般観戦者の入場も認められ、家族でお父さんの応援など微笑ましい光景も見られました。

当日は猛暑のなか、県内の消防関

係者等約800名が参加し、県内支部代表のポンプ車操法の部11チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

操法競技は、指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、応援する団関係者の見守るなか素晴らしい演技が展開されました。



☆茨城県

11月25日(土) 茨城県立消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 取手市消防団

【準優勝】 つくばみらい市消防団

【第3位】 八千代町消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 大子町消防団

【準優勝】 守谷市消防団

【第3位】 潮来市消防団

本年は、自治体消防制度75周年にあたるため、

5年ごとの「茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会」を開催し、地区大会で優勝した10チーム(ポンプ車操法6チーム、小型ポンプ操法4チーム)が、これまでの訓練の成果を競い合いました。

当日は、白熱した競技が繰り広げられ、各選手の見事な操法に惜しめない声援と拍手が送られていました。

なお、本大会は、「第30回全国消防操法大会」の本県出場チームを決める代表選考会も兼ねており、ポンプ車操法で、激戦を制した取手市消防団が、全国大会への切符を手に入れました。



☆栃木県

9月9日(土) 栃木県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 益子町消防団

【準優勝】 上三川町消防団

【第三位】 佐野市消防団

(公財)栃木県消防協会主催による「第47回栃木県消防操法大会」が、宇都宮市にある栃木県消防学校で挙行されました。

来賓や応援団など多くの来場者を迎えての大会開催は実に5年振りであり、多くの関係者の尽力

により、無事に大会を実施することができました。

前日からの雨が残る中、県内の各支部から予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部9チームが出場して、日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法の技術の向上と士気高揚を図りました。

家族や地元応援団からの熱い声援や激励を受けた選手達の白熱した操法が披露され、素晴らしい大会となりました。

優勝した益子町消防団は、第30回全国消防操法大会への出場権を獲得しました。



☆長野県

7月23日(日) 長野県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 茅野市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 駒ヶ根市消防団

消防ラッパ吹奏大会

【優勝】 長野市消防団

長野県と(公財)長野県消防協会の共催による「第65回長野県消防ポンプ操法大会」及び「第32回長野県消防ラッパ吹奏大会」を長野市の県消防学校で開催しました。

大会には3部門に地区大会を勝ち抜いた12地区協会の代表チームが出場。選手、選手関係者、来賓、役員、運営員等約1,800名が参加しました。大会運営は、昨年に引き続き地区協会ごとの“入

れ替え方式”とし、受付点検時に集合し、競技後退場としました。関係者による開閉会式も時間短縮し、表彰式は日を改め10月の研修大会で行いました。猛暑で参加者の体調が心配される中、選手の滞在時間の短縮と運営の効率化により、負担を軽減しました。

また、会場は県下持ち回りで行っていたものを、初めて県消防学校で開催し、当面は固定化としました。これにより事前に会場等を確保する地区協会の業務がなくなりました。

今年度は積極的に大会の広報に努め、消防団への理解促進と団員確保にも寄与したと思います。今後も引き続き選手ファーストの考えのもと、参加者、運営員も含めた体調管理、安全面を第一に、必要な見直しを行いながら実施していきます。



☆福井県

7月22日(土) 福井県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 大野市消防団 第1分団

【準優勝】 鯖江・丹生消防組合越前消防団
織田地区第1分団

【第3位】 嶺北消防組合坂井消防団 第11分団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 敦賀美方消防組合美浜消防団 第2分団

【準優勝】 福井市消防団 湊分団

【第3位】 鯖江・丹生消防組合鯖江消防団
北中山分団

福井県と当協会の共催で71回目となった大会には、9地方消防協会から選出された、ポンプ車の部8チームおよび小型ポンプの部7チームが出場しました。

従来はポンプ車操法が終わった後に小型ポンプ操法を行っていましたが、今年度は事前の抽選で出場順を決定し、大会当日は地方消防協会毎にポンプ車操法と小型ポンプ操法を続けて行うようにしました。

暑い中、選手達は地元の応援者や消防関係者の大きな声援を受け、日頃の訓練の成果を力一杯発揮するべく気迫あふれる操法を披露し、白熱した大会となりました。



☆石川県

7月29日(土) 石川県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 能登町消防団三波分団

【準優勝】 志賀町消防団土田分団

【準優勝】 白山市南消防団白峰分団

【敢闘賞受賞分団】 金沢市第一消防団三馬分団、穴水町消防団甲分団、中能登町消防団鹿西分団、志賀町消防団西増穂分団、加賀市消防団山中第3分団
軽可搬ポンプ模範操法 かほく市女性消防隊

第69回石川県消防操法大会が石川県消防学校の屋外訓練場において多数のご来賓を迎えて開催され、ポンプ車操法の競技を実施しました。また、全国女性消防操法大会に出場予定であった、かほく市女性消防隊による軽可搬ポンプ模範操法が披露されました。

今回は応援団参加者の人数制限をせず、コロナ前とほぼ同様の開催とし、無事に大会を終了することができました。

各地区大会を勝ち抜いた、ポンプ車操法17分

団が参加しました。応援テント前には、のぼり旗が掲げられ、応援団からの熱のこもった声援を受けて、各出場隊は日頃からの訓練で培ったレベルの高い操法技能を存分に発揮しようと、活気溢れる競技を繰り広げました。



☆富山県

7月22日(土) 富山県広域消防防災センター

ポンプ車操法の部

【優勝】 砺波市消防団 庄下分団

【次勝】 富山市消防団 上滝分団

【参勝】 南砺市消防団 井口分団

小型ポンプの部

【優勝】 富山市消防団 細入南分団

【次勝】 富山市消防団 保内分団

【参勝】 南砺市消防団 福野北部分団

第74回富山県下消防団消防操法大会は、富山県広域消防防災センターにおいて富山県と富山県消防協会の共催で開催され、各支部から予選を勝ち抜いたポンプ車操法の部22チーム、小型ポンプ操法の部11チームの参加のもと、盛大に開催されました。

連日の厳しい暑さの中で積んできた訓練の成果を

遺憾なく発揮すべく、総勢187名の精鋭が真剣に競い合いました。消防団の活動への関心、重要性への理解を深める熱気あふれる大会となりました。

また、全国女性消防操法大会に出場する「富山県女性消防隊」が、日頃の操法訓練の成果を披露し、会場から全国大会入賞を期待する大きな拍手で激励を受けました。



☆愛知県

8月5日(土) 新城総合公園 競技場
(愛知県新城市浅谷字ヒヨイタ40)

ポンプ車の部

【優勝】 知立市消防団

【準優勝】 瀬戸市消防団

小型ポンプの部

【優勝】 蒲郡市消防団

【準優勝】 岡崎市常磐消防団

第68回愛知県消防操法大会は、愛知県と公益財団法人愛知県消防協会主催、新城市共催の中開催されました。

昨年度も採用した、分散集合・分散解散した以外は、コロナ禍以前の開催に近い大会となり、ポ

ンプ車の部15団、小型ポンプの部16団が出場しました。

連日の厳しい暑さの中で培ってきた訓練の成果を遺憾なく発揮すべく、総勢139名の精鋭が熱い戦いを繰り広げました。団員数が減少する中、消防団の活動への関心、重要性への理解を深める大会となり、また、東京臨海広域防災公園で開催される第25回全国女性消防操法大会に出場する、刈谷市消防団女性消防隊の軽可搬ポンプ操法も披露されました。

今年度は新たな取り組みとして企業出店エリアを設け、地元の協力を得てキッチンカーの出店などもあり、盛況のうち大会を終えました。



☆岐阜県

8月6日(日) 岐阜県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 恵那市消防団

岐阜県では、地域消防団の活性化のため市町村を順番に回って開催していた県消防操法大会を、今大会から消防学校に会場を固定化することに取り組んできました。これは操法大会の冠に「消防感謝祭」と銘打って、消防団員及びその家族の日頃の活動に対する慰労とともに、広く県民の皆さんに消防団活動に関心を持ってもらいその努力に対して認識を深めていただくことを目的に市町村持ち回りで大会を実施してきたものの、年々大会が盛大になるとともに会場整備等開催経費の負担が大きくなってきたことから、経費節減のために会場の固定化を中心に検討を重ね、今大会の開催に至ることとなりました。このような経緯の中、「消防感謝祭」第72回岐阜県消防操法大会が関係者をはじめ多くの皆さんの協力を得て、「岐阜県消

防学校」において開催されました。

開催時期は従来と同じ8月の第1日曜日としたため、近年の猛烈な暑さに備えて、開会式及び閉会式を消防学校の屋内訓練場で開催し、出場隊員及び関係者の健康管理・負担軽減に努めました。また、会場が学校施設のため、飲食の伴うバザーを取りやめてコンパクトな大会となるように第一歩を踏み出しました。

競技では、岐阜県下の各消防協会から選出された22隊の消防団による白熱した消防操法が繰り広げられ、各隊ともに日々取り組んできた訓練の成果を遺憾なく発揮し、節度ある規律と機敏な行動を披露しました。令和2年、3年の大会を中止し、昨年の大会は出場時間ごとに集まる分散方式での開催としたため、本格的な大会は4年ぶりの開催となりました。放水で標的が倒れる度に来場の方々の拍手が鳴り響き、久しぶりの本格的な大会に会場に活気が戻ってきたことを感じられる一日でした。



☆大阪府

9月3日(日) 大阪府立消防学校

【総合優勝】 南河内地区支部

ポンプ車操法の部

【優勝】 松原市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 藤井寺市消防団

大阪府と大阪府消防協会との共催により毎年実施している大阪府消防操法訓練大会は67回目を迎えました。

当日は酷暑となりましたが、府内7地区から選抜された2部門それぞれ7団、計14の出場団は、日頃の厳しい訓練の成果を発揮して

熱気あふれる大会になりました。

会場では、防災や消防団に親しみをもってもらえる催しを消防機関の協力のもと実施いたしました。また、大会の休憩時間を利用して、第25回全国女性消防操法大会に出場する岬町女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の披露が行われました。



☆滋賀県

7月30日(日) 滋賀県消防学校屋外訓練場

ポンプ車操法の部

【優勝】 甲賀市消防団B

【準優勝】 日野町消防団

【第三位】 守山市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 甲賀市消防団B

【準優勝】 高島市消防団

【第三位】 甲賀市消防団A

第58回滋賀県消防操法訓練大会は、ポンプ車操法の部13チーム、小型ポンプ操法の部10チームの精鋭が県内各地域の代表として出場し、熱い闘いを繰り広げました。

大会当日は熱中症対策として、開閉会式、優勝旗等返還式および入賞団表彰式の時間短縮等の対策をし、選手をはじめ、ご家族や応

援関係者などが見守る中、「心・技・体」を養うため日頃より積み重ねた厳しい訓練の成果を思う存分発揮し、迅速適正で士気旺盛な熱気溢れる競技が繰り広げられました。

厳しい猛暑の中ではありますが、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防団活動の進歩・充実に寄与し、県民に対する消防団活動の理解を深めるという本大会の目的を十分に達し得た大会となりました。



☆鳥取県

7月2日(日) 鳥取県消防学校屋外訓練場(米子市)

ポンプ車操法

【優勝】 米子市消防団(夜見分団)

小型ポンプ操法

【優勝】 日野町消防団(第1分団)

第69回鳥取県消防ポンプ操法大会は、ポンプ車操法の部12隊、小型ポンプ操法の部12隊の出場で、日頃の訓練成果を競い合い、熱のこもった大会となりました。

今年度も、コロナ禍に配慮して一般来場者を制限しましたが、開会式、表彰・閉会式も従前の形に戻して開催しました。操法実施要領等見直し後、初めてとなる操法大会でしたが、競技時間も短縮され、スムーズに運営ができました。

ただし、優秀選手賞(番員賞)については、減点項目が少なくなった関係で同点となるケースが多く、年齢チェック等で発表までに時間がかかりました。



☆岡山県

7月2日(日) 岡山県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 和気町消防団第4分団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 高梁市消防団宇治吹屋分団Aチーム

第69回岡山県消防操法大会は、開閉会式の簡素化、有観客、チーム入れ替え制の大会でした。

また、操法実技、審査内容は全国に合わせて行い、備前・備中・美作の3地区から計33チームの出場となりました。

ポンプ車操法の部10チーム、小型ポンプ操法の部23チームに分かれ、所要時間・操法の的確性などを競いました。大会の準備、運営

の協力を真庭市及び新庄村消防団並びに真庭市消防本部の皆様にご協力いただきました。

大会結果は、ポンプ車操法の部は和気町消防団第4分団が優勝、小型ポンプ操法の部は高梁市消防団宇治吹屋分団Aチームが4連覇を果たしました。

なお、表彰伝達式を7月28日(金)岡山県消防学校において行いました。



☆広島県

11月25日(土) 広島県消防学校

小型ポンプ操法の部

【優勝】 福山市消防団A

【準優勝】 福山市消防団B

【第3位】 安芸太田町消防団

広島県消防ポンプ操法競技大会は、広島県と広島県消防協会が共催し、隔年で実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりに開催することができました。

今年度は、小型ポンプ操法の部で、県内の市町消防団から厳しい

予選を勝ち抜いた19チームが出場し、地域の代表としての誇りを胸に日ごろの訓練の成果をいかに発揮し、所期の目的である消防操法技術の向上と士気の高揚を図りました。

大会結果については、福山市消防団が大会10連覇を果たしました。



☆山口県

9月16日(土) 山口県消防学校

基本操法ポンプ車の部

【優勝】 萩市消防団

基本操法小型ポンプの部

【優勝】 阿武町消防団

応急操法ポンプ車の部

【優勝】 宇部市消防団西岐波分団

応急操法小型ポンプの部

【優勝】 萩市消防団

女性軽可搬ポンプ基本操法の部

【優勝】 和木町女性消防隊

山口県、山口県消防協会及び山口県消防クラブ連合会の共催により開催している本大会は、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため無観客での開催となりましたが、本年度はたくさんの声援の中、競技を実施することができました。

本年度は県内16市町から、「基本操法ポンプ車の部」に5隊、「同小型ポンプの部」に16隊、本県独自の競技種目である「応急操法ポンプ車の部」に5隊、「同小型ポンプの部」に12隊、「女性軽可搬ポンプ基本操法の部」に7隊、計45隊が出場し、日頃の訓練の成果を発揮されました。

基本操法小型ポンプの部で優勝した阿武町消防団は、来年度宮城県で開催される全国大会に出場します。初めての全国大会ですが、てっぺんを目指し意気が上がっています。



☆香川県

9月10日(日) 香川県消防学校放水訓練場
ポンプ車の部

【優勝】 さぬき市消防団大川方面隊

小型ポンプの部

【優勝】 坂出市消防団川津分団

香川県消防操法大会は50回目の開催を迎え、その節目として、水出し操法を実施し県内10地区の代表消防団が参加しました。日頃の厳しい訓

練の成果を十分に発揮し、消防操法技術の向上と消防団員の士気の高揚が大いに図られました。

消防学校(防災センターを併設)を会場としており、一般見学者も多く、1,000人を超える方が集まり、「放水はじめ」の掛け声で火点が一気に倒れるたびに、会場から大きな声援が送られ、熱気あふれる大会となりました。

また、全国女性消防操法大会に出場する「高松市女性消防隊」が、操法を披露し、大きな拍手と声援で激励を受けました。



☆福岡県

9月3日(日) 福岡県消防学校

【優勝】 久留米市女性消防隊

福岡県と一般財団法人福岡県消防協会の共催による「第5回福岡県女性消防操法大会」を、嘉麻市にある福岡県消防学校において開催いたしました。

太宰府市、久留米市、筑後市、桂川町の女性消防隊4チームが参加のもと、日頃の訓練の成果を活かし、白熱した競技が繰り広げられ、優勝した久留米市女性消防隊が、第25回全国女性消防操法大会への出場権を獲得しました。

厳しい暑さの中、出場された消防団関係者をはじめ、審査員を務めていただいた消防本部職員及び県消防学校教官の皆様のご協力により、円滑な大会運営ができましたことに深く感謝申し上げます。



☆熊本県

9月3日(日) 熊本県山鹿市カルチャースポーツセンター第5駐車場

【優勝】 八代市本部女性消防隊

【準優勝】 荒尾市消防団女性隊

【第3位】 人吉市女性消防隊

熊本県、熊本県消防協会並びに山鹿市、山鹿市消防団、山鹿市消防本部の共催により『第7回熊本県女性消防操法大会』を開催しました。

今大会には、県下7チームの女性消防隊が出場し、消防団関係者や応援団など約800人が見守る

中、地元の熱い期待と盛大な声援を受けながら、連日の厳しい暑さの中で積んできた厳しい訓練の成果を遺憾なく発揮し、熱気あふれる競技を繰り上げました。

今回は通常開催になりキッチンカーの出店等もあり、大変な盛り上がりを見せました。

なお、今回、優勝した八代市本部女性消防隊は全国大会出場の推薦を受け、全国大会二連覇を目指し第25回全国女性消防操法大会に出場し、見事に連覇を果たしました。



☆鹿児島県

8月27日(日) 霧島市消防局敷地内

軽可搬ポンプ操法

【優勝】 鹿児島市女性消防隊

【準優勝】 日置市女性消防隊

【第三位】 鹿屋市女性消防隊

鹿児島県消防協会始良・伊佐支部共催のもと、
「第1回鹿児島県女性消防操法大会」が開催されま

した。これまでの輪番制に変えて、大会参加希望の女性消防隊を募り、5チームが出場しました。日頃の訓練の成果を力一杯発揮するべく、気迫あふれる白熱した大会となりました。それぞれのチームが、力強い声援を背に受け充実した競技を披露することで、強い絆を肌で感じる事が出来ました。改めて消防操法の素晴らしさを実感した一日となりました。



☆沖縄県

11月2日(木) 沖縄県消防学校
(中城村字北上原910番地)

ポンプ車操法の部

【優勝】 ニライ消防団

【2位】 那覇市消防団

【3位】 名護市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 久米島町消防団

【2位】 名護市消防団

【3位】 那覇市消防団

女性小型ポンプ操法の部

【優勝】 沖縄市消防団

【2位】 島尻消防組合消防団

【3位】 名護市消防団

応用訓練の部

【優勝】 伊江村消防団

【2位】 糸満市消防団

【3位】 宮古島市消防団

沖縄県と公益財団法人沖縄県消防協会の主催により、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的として、第28回沖縄県消防操法大会を開催しました。

昭和45年に第1回大会が開催され、これまで隔年で大会開催してきましたが、令和3年に開催予定であった第27回大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、やむなく中止となりました。

そのような状況の中、4年ぶりに開催された今大会には、県下7地区から選出された消防団12チームの精鋭が集い、レベルの高い競技が繰り広げられました。日頃の訓練の成果が存分に発揮され、高評価を得て成功裏に終えることができました。また、これからの消防団活動の充実強化にも大きな成果をあげることと思います。

なお、「ポンプ車操法の部」で優勝したニライ消防団、「女性小型ポンプ操法の部」で優勝した沖縄市消防団は、令和6年、令和7年開催予定の全国大会への出場権を獲得しました。



第50回消防団幹部特別研修を開催

(公財)日本消防協会

令和6年1月16日(火)から19日(金)までの4日間、各都道府県の消防団長及び副団長の中から代表として推薦された44名が出席し「第50回消防団幹部特別研修」を開催しました。

開講式では、日本消防協会 秋本会長及び総務省消防庁 原長官からご挨拶をいただき、研修生総代の山口県山陽小野田市消防団 藏重団長の宣誓により、厳粛な雰囲気の中、研修が始まりました。

研修1日目は、秋本会長からの講話と、『消防行政』として消防庁国民保護・防災部 小谷防災部長から最新の消防行政の動向や施策について講義をしていただきました。

研修2日目以降は、消防団幹部としての知識を深めるため、『消防団への期待とより充実した活動に向けて』として元横浜市中消防署長 小野和夫講師、『惨事ストレス対策』として筑波大学名誉教授 松井豊講師、『気象』として東北大学特任教授 西出則武講師、『危機管理』としてBlog 防災・危機管理トレーニング主宰 日野宗門講師、『地震災害』として一般社団法人防災教育普及協会会長 平田直講師、『消防団活動事例』として千葉県館山市消防団団長 吉野隆志講師、『大規模災害と消防団』として政策研究大学院大学教授 室田哲男講師、『防災対策』として消防庁地域防災室 志賀室長を講師としてお招きし講義をしていただきました。

研修最終日は、研修期間中をとおして課題について討議した結果を班ごとに発表し、問題意識の共有を図るとともに、所属団の取り組み状況や諸問題について意見交換を行い、地域を越えた有意義な課題研究討議となりました。

なお、課題研究討議のテーマは次のとおりです。

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化の具体的方策について」



山口県山陽小野田市消防団 団長 藏重総代による「宣誓」



課題研究討議の様子

1日目【令和6年1月16日(火)】

時 間	区分・科目	摘要・講師
12:30～13:00	受付	
13:00～13:20	開講式リハーサル	
13:25～14:00	開講式・記念撮影	
14:10～15:10	会長講話	日本消防協会会長 秋本敏文
15:20～15:50	オリエンテーション	
16:00～16:50	消防行政	消防庁国民保護・防災部長 小谷敦講師
17:00～17:30	オリエンテーション	
17:30～18:30	意見交換会	

2日目【令和6年1月17日(水)】

時 間	区分・科目	摘要・講師
9:00～10:00	消防団への期待とより充実した活動に向けて	元横浜市中消防署長 小野和夫講師
10:10～10:50	課題研究討議	
11:00～12:00	惨事ストレス対策	筑波大学名誉教授 松井豊講師
13:00～14:00	気象	東北大学特任教授 西出則武講師
14:10～15:00	危機管理	Blog 防災・危機管理トレーニング主宰 日野宗門講師
15:10～16:00		
16:10～17:00		

3日目【令和6年1月18日(木)】

時 間	区分・科目	摘要・講師
9:00～9:50	課題研究討議	
10:00～11:00	地震災害	(一社)防災教育普及協会会長 平田直講師
11:10～12:00	課題研究討議	
13:00～13:50	消防団活動事例	館山市消防団団長 吉野隆志講師
14:00～15:00	大規模災害と消防団	政策研究大学院大学教授 室田哲男講師
15:10～16:00	防災対策	消防庁 地域防災室長 志賀真幸講師
16:10～17:30	課題研究討議	

4日目【令和6年1月19日(金)】

時 間	区分・科目	摘要・講師
9:00～9:50	閉講式リハーサル等	
10:00～12:00	課題研究発表	消防庁 対策官併任消防団専門官 本島鉄也講師
13:00～13:30	閉講式	



課題研究発表の様子



副総代に修了証及び記章授与の様子
代表受領者：静岡県南伊豆町消防団 長嶋副団長

「全国消防殉職者遺族会理事会」を開催

全国消防殉職者遺族会

令和6年1月26日(金)、ヤクルト本社ビル6階B会議室で「全国消防殉職者遺族会理事会」が開催されました。

1 議事

議案 令和6年度事業計画及び収支予算案について

2 報告事項

(1) 消防育英会奨学生 の状況について

(2) その他

議事については、異議なく承認されました。

会議終了後、ヤクルト本社ビル1階の全国消防殉職者慰霊碑に参拝しました。



全国消防殉職者遺族会理事会 日本消防協会秋本会長挨拶



全国消防殉職者遺族会理事の参拝後の記念撮影



5ヶ月間で例年の3倍の入団者が…!

山形県 山形市消防団

1 山形市消防団の紹介と現況

山形市の人口は約243,000人で、現在の消防団組織は1団21分団70部133班で構成され、1,369名の団員が地域住民の安全・安心を守るため訓練に励み、住民の防災力向上に向けた活動を行っています。

しかしながら、山形市でも人口減少や高齢化等により、団員数は減少傾向にあり、条例定数を満たしていない実情にあります。

そこで、今後将来に向けた組織再編と現在取り組んでいる団員募集についてご紹介させていただきます。第1に有事の際に少人数でも活動しやすく、機動力を高めるため、多くの班に配備している、「手引き動力ポンプ」から「小型動力ポンプ付積載車(3.5t未満)」や「小型動力ポンプ付軽積載車」へ更新を進めています。

第2に隣接する班同士の「班の統廃合」や班はそのまま残し、消防資器材を複数の班で活用する「共同運用」など、地域社会環境の変化に対応した取り組みを計画的に進めています。



2 加入促進活動と実績

消防団員の入団促進を図るため、令和4年度に総務省消防庁が募集した「消防団の力向上モデル事業」を活用し、消防団PR動画の制作と広報用チラシの作成を行いました。特にPR動画の制作については、制作委員会を設置し、メンバーは大学生や高校生、山形市出身のインフルエンサー「勝手にオネーサン」等で構成し、若者の心に響く斬新なアイデアやデザインを取り入れました。

完成した動画は、現在YouTube山形市公式チャンネルに投稿し広く配信されています。昨年は市内全世帯に配布される「市報」に作成した広報用チラシを折り込みしたところ、動画やチラシを見た幅広い年代から問い合わせがあり、5ヶ月間で例年の3倍となる16名の方から消防団に入団頂くという成果を得ている状況です。





看護学生への消防団加入促進の 取組み事例

三重県 松阪市消防団

1 活動事例

全国各地で災害が激甚化・頻発化する中、消防団は地域防災力の中核として重要な役割を果たしていますが、近年、消防団員数は著しく減少しています。この傾向は当市にも当てはまり、①消防団活動に対する理解促進と、②消防団に対する地域のニーズに応えられる多様な人材を確保するため、若さと行動力そして専門知識の活用が期待できる学生を対象として次のような消防団加入促進への取組みを行いました。

- (1) 令和3年4月1日、松阪市消防団条例の一部改正を行い、基本団員と区別する形で特定の消防団活動を行う機能別団員を任用できるようにしました。令和4年4月1日、松阪市消防団機能別団員運用規程を策定し任務、身分等に関し必要な事項を定めました。このことにより、学生が消防団員としてその能力やメリットを活かしながら時間の許す範囲で活動できる環境を整えました。
- (2) 令和4年10月に松阪市管内にある松阪看護専門学校と連携し、講義の合間に入団説明会を行いました。令和5年6月にも新入生(約40名)に入団説明会を行いました。このことにより、防災分野に関心が高いであろう学生に消防団活動に対する理解促進を図ることができました。

2 実績や効果

上記の取組みを行った結果に対する実績や効果として次のようなものが挙げられます。

- (1) 松阪看護専門学校の学生が、令和4年度13名、令和5年度19名入団
初年度である令和4年度は1学年の約3分の1、次年度の令和5年度は1学年の約2分の1の入団がありました。
- (2) 令和5年2月1日付けで松阪看護専門学校を松阪市消防団協力事業所として認定
学校には消防団活動に理解を示していただき、書類や被服の受け渡しなど事務局と学生とのつなぎ役として協力していただいています。
- (3) 先輩と後輩がお互い切磋琢磨し、刺激し合うことで自己成長を加速させ、将来の地域防災の担い手となる機会の提供
例えば、応急手当指導員講習にて応急手当指導員の資格を取得した先輩から後輩に指導させた際には、参加した団員双方それぞれ学びがあったと感想を述べています。また、予防広報啓発活動を行うにあたり、班に分け先輩をリーダーに指名し活動を行わせた際には、リーダーとして指導する立場になってその難しさを知ったという意見や今後リーダーとしての能力を身に付けていきたいという意気込みが感想として寄せられました。



応急手当指導員の資格を取得した先輩が応急手当指導員講習にて後輩に指導する様子



予防広報啓発活動にて班に分けリーダーを中心に指示を出している様子

3 今後の展望

今後の展望について以下の点が考えられます。

(1) 松阪看護専門学校での入団説明会の継続実施

以下の理由から今後も引き続き実施していきます。

- ① 上述のように、団員数の増加、先輩の存在が後輩への模範となっているから。
- ② 現在在籍している団員はいずれ卒業し社会人になると、多忙を理由に退団する可能性があるから。
- ③ 消防団教育として学生の消防団活動に対する理解促進につながるから。

(2) 学生消防団活動認証制度による就職の支援

学生時代に入団して活動してよかったと感じてもらえるような活動だけでなく、地域社会に貢献した大学生等の就職活動を後押しします。

(3) 機能別団員から基本団員への移行を促進

地域防災の新たな担い手として卒業後も学生時代に消防団活動で培った知識や経験を地域でも活かしてもらえるように基本団員への移行を促していきます。

以上のように、今後長期的に消防団員を確保していくためには若い人材の確保が重要であり、学生等の若者が消防団活動に参加し関心を持つことによって、卒業後にも地域防災の担い手となることを期待しています。また、今回ご紹介した学生の消防団員は、消火などの現場活動には従事しませんが、学校と連携しながら看護専門学生ならではの視点で地域の防災にかかわりを持ち、救命講習やイベントの参加などにより地域住民に対する啓発活動等（予防広報啓発活動、消防団のPR活動）を通じて地域防災力の強化を図ってまいります。



将来的な消防団員の確保のために

～小学生向け松江市消防団副読本“地域を守る消防団のしごと”を制作して～

島根県 松江市消防団

近年、消防団員の数は急激に減少してきており、本市も例外ではありません。そのため、勧誘活動はもとより、団員の処遇改善や組織・活動内容の検討など様々な施策を行っています。

一方、より若い学齢期の方々に関して、地域の暮らしや住民を守る消防団活動に対する理解を深めることは、郷土愛を醸成し、生涯を地元で過ごしたいという意識を高め、将来的な消防団員の確保にも繋がるものと考えています。そのため、本市では令和3年度から「消防団員による出前授業」を実施し、消防団員が地元の小学校へ訪問し、団員自らの体験をもとに消防団の役割や意義の説明を行っています。

出前授業は、小学3年生の社会科授業で活用いただいております。学校、消防団員ともに好評である一方、大部分が被雇用者である消防団員が平日日中に出掛ける負担を考慮し、市内34校のうち、10校程度での実施にとどめています。そのため、出前授業の良さをその

ままに、より効果的に幅広い児童に浸透すべく、総務省消防庁「消防団の力向上モデル事業」の採択を受け、児童向けの消防団紹介冊子(副読本)を制作することとしました。

誌面は、児童に親しみを持ってもらいやすいよう、写真を大きく添え、短い文章で分かりやすく解説するとともに、誌面では伝えることができないポンプの動く音や団員の動作、やりがいやきっかけなどの生の声を動画に収めた二次元コードを掲載するなどの工夫を凝らしました。なお、近年のDX化に倣い電子書籍を基本としましたが、小学3年生には、冊子(紙)にして配布させてもらい、お家に持ち帰って親御さんと一緒に読んでいただける形としました。

今後も、消防団を取り巻く状況が目まぐるしく変移することが予想される中、本市消防団が、将来にわたり地域から求められる消防団であり続けるため、力強く歩みを進めていきたいと考えます。





松江市消防団
「地域を守る消防団のしごと」
Web版 QRコード



令和5年版 消防白書の概要

総務省消防庁 総務課

消防白書は、国民の生命、身体及び財産を災害等から守る消防防災活動について紹介するものであり、毎年刊行しています。

令和5年版消防白書では、特集として、近年の大規模自然災害を踏まえた消防防災体制の整備のほか、新型コロナウイルス感染症対策・熱中症への対応、G7広島サミットにおける消防特別警戒等、消防団を中核とした地域防災力の充実強化、消防防災分野におけるDXの推進、近年の安全保障環境等を踏まえた国民保護施策の推進及び関東大震災100年について記載しています。

また、トルコ共和国地震災害における国際消防救助隊の派遣など、令和5年に話題になった事柄をトピックスとして掲載しています。

なお、本誌「日本消防」への掲載については、誌面の都合により「特集2 新型コロナウイルス感染症対策・熱中症への対応」、「特集3 G7広島サミットにおける消防特別警戒等」及び「特集6 近年の安全保障環境等を踏まえた国民保護施策の推進」について未掲載となっております。詳細は、消防庁ホームページ(<https://www.fdma.go.jp/publication/>)に掲載していますので、ご覧ください。

特集1 近年の大規模自然災害を踏まえた消防防災体制の整備

令和5年の地震による被害及び消防機関等の対応状況

※被害情報は令和5年11月15日時点

■ 能登半島沖を震源とする地震

- 能登半島沖を震源とし、令和5年5月5日14時42分、マグニチュード6.5の地震が発生。石川県珠洲市で震度6強。
- また、同日21時58分にも、マグニチュード5.9の地震が発生。同市で震度5強。
- 被災地域の奥能登広域圏事務組合消防本部は、救助、救急等の活動。石川県の消防防災ヘリコプターが、情報収集。
- 被災地域の消防団は、巡視・警戒、被害情報の収集、がれきの撤去等を実施。



消防団の活動の様子
(石川県珠洲市提供)



救出活動の様子
(奥能登広域圏事務組合消防本部提供)

被災都道府県	人的被害	住家被害
石川県及び富山県	死者 1人 負傷者 48人	3,397棟

令和5年の風水害による被害及び消防機関等の対応状況

1 令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号

- 被災地の消防本部は、救助・救急等の活動。
- 被災地の消防団は、巡視・警戒、避難誘導、消防車両等による排水作業等を実施。

主な被災地	人的被害	住家被害
関東甲信、東海、近畿	死者 6人 行方不明者 2人 負傷者 49人	10,276棟



① 消防団による排水作業の様子
(埼玉県吉川市提供)

2 令和5年6月29日からの大雨

- 福岡県、佐賀県及び大分県では、県内消防本部の相互応援。
- 被災地の消防団は、巡視・警戒、避難誘導、ボートによる救助活動、土砂撤去等の災害復旧活動を実施。

主な被災地	人的被害	住家被害
北陸、中国、九州 (大雨特別警報：福岡県、大分県)	死者 13人 行方不明者 1人 負傷者 16人	8,020棟



② 救出活動の様子
(久留米広域消防本部提供)

3 令和5年7月15日からの大雨

- 秋田県では、県内消防本部の相互応援。
- 被災地の消防団は、巡視・警戒、避難誘導、救助活動の支援、小型ポンプによる排水活動、土砂撤去等の災害復旧活動を実施。

主な被災地	人的被害	住家被害
東北	死者 1人 負傷者 5人	6,966棟



③ 被害の状況
(五城目町消防本部提供)

4 令和5年台風第7号

- 鳥取県及び岡山県の消防防災ヘリコプターが、情報収集等。
- 被災地の消防団は、巡視・警戒、避難誘導、消防車両等による排水作業、土砂撤去等の災害復旧活動を実施。

主な被災地	人的被害	住家被害
東海、近畿、中国 (大雨特別警報：鳥取県)	負傷者 70人	929棟



④ 救助の様子
(綾部市消防本部提供)

5 令和5年台風第13号

- 福島県等の消防防災ヘリコプターが、情報収集等。
- 被災地の消防団は、巡視・警戒、避難誘導、消防車両等による排水作業等の災害復旧活動を実施。

主な被災地	人的被害	住家被害
東北、関東甲信	死者 3人 負傷者 18人	6,096棟



⑤ 救助の様子
(福島県提供)

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」における消防庁の取組

- 「5か年加速化対策」において、消防庁では、「大規模災害等航空消防防災体制充実強化対策」や「地域防災力の中核を担う消防団に関する対策」など、8つの施策を実施。



【消防庁ヘリコプター】
(大規模災害等航空消防防災体制充実強化対策)



【救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車】
(地域防災力の中核を担う消防団に関する対策)

特集4 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

消防団の現状

- 消防団員数は年々減少。令和5年4月1日現在、前年に比べ2万908人減少し、76万2,670人となっており、令和4年以降、2年連続で前年比2万人以上減少している。

1 消防団員数の推移



- 近年、退団者数は高い水準で推移。入団者数は、令和5年調査においては、やや持ち直して8年ぶりの増加となったものの、減少傾向にある。

2 入団者数・退団者数の推移

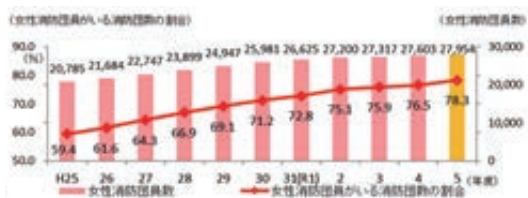
(各年4月1日現在)



(備考)「消防団の組織概要等に関する調査」により作成

- 一方、女性消防団員数（前年比1.3%増）、学生消防団員数（前年比15.0%増）、機能別消防団員数（前年比8.0%増）は増加傾向にある。

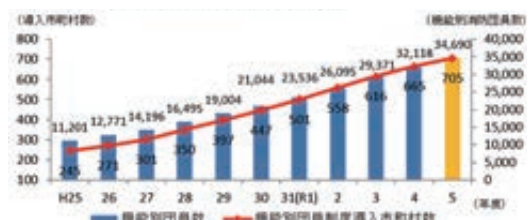
3 女性消防団員数の推移



4 学生消防団員数の推移



5 機能別消防団員数の推移



消防団の充実強化の取組

- 女性や若者をはじめ、幅広い住民の更なる入団促進を図るため、
 - ・ 今田耕司やゆりやんレトリィバァなど、知名度の高いタレントを起用したポスターやPR動画の作成
 - ・ 若者が触れる機会の多いSNSを活用した情報発信
 - ・ 消防団員として活動した学生に対してその実績を認証する「学生消防団活動認証制度」の普及促進
 などを実施。
- また、「消防団の力向上モデル事業」により、女性や若者等に対する広報や、企業・大学等と連携した消防団への入団促進など、女性・学生・機能別消防団員の確保等をはじめ、消防団の充実強化に向けた地方公共団体の先進的な取組を支援。

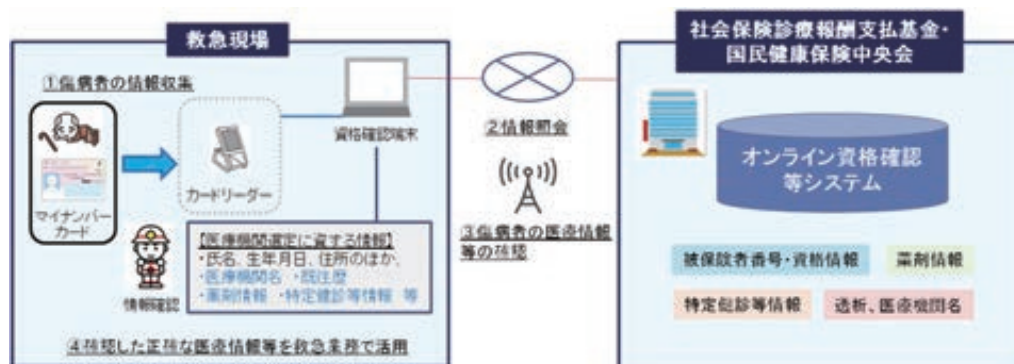


【消防団員募集ポスター】

特集5 消防防災分野におけるDXの推進

マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化

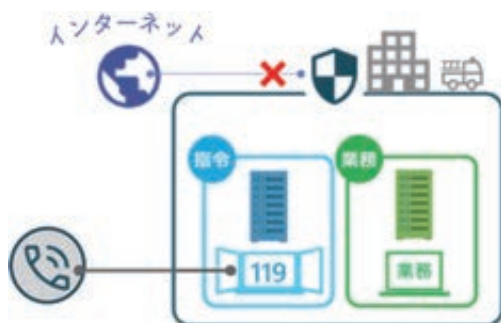
- 救急隊が搬送先医療機関の選定等を行う際に、傷病者のマイナンバーカードを活用して過去の受診歴や服薬状況などの医療情報等を閲覧できるよう、幅広い消防本部の参画を得て実証を行い、救急現場で活用できるシステム構築に取り組んでいる。



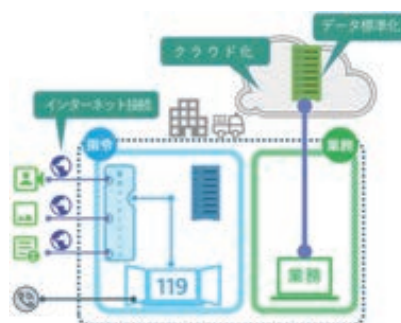
【事業のイメージ】

消防指令システムのインターフェイスの標準化・消防業務システムのクラウド化

- 令和6年度から令和8年度にかけての各消防本部におけるシステム更新のピークを機に、消防本部間の連携や、外部システムとの連携を容易にするため、消防指令システムのインターフェイスの標準化や消防業務システムのクラウド化を推進している。



【インターネットに接続されていない独立型の消防システム】



【インターネットに接続され、データ連携・新機能の追加をしやすい消防システム】

消防団へのドローン配備・講習の実施

- 地域に密着した消防団の情報収集能力を向上させ、災害時等にいち早く安全に現場の状況を把握できるよう、消防団におけるドローン配備や、ドローン操縦技術の習得を促進している。



【ドローンを用いた災害対応講習の様子】

特集7 関東大震災100年

関東大震災の概要

- 関東大震災は大正12年9月1日11時58分に発生し、死者、行方不明者は約10万5,000人に及び、全半潰・焼失等の被害を受けた住家は総計約37万棟に上った。
- 昼食時であったことや台風による強風もあり、多くの火災が発生、人的被害の多くは火災によるものであった。

【関東大震災による被害の状況】

被害状況		
死者・行方不明者		105,385人 (うち火災による死者91,781人)
住家被害	全 潰	109,713棟 (うち非焼失79,733棟)
	半 潰	102,773棟 (うち非焼失79,272棟)
	焼 失	212,353棟
	流失・埋没	1,301棟

消防庁の取組等

- 令和5年は関東大震災が発生してから100年を迎える節目の年であったので、消防庁では、関東大震災の経験を生かし、いつか来る災害に備えられるよう、「関東大震災から100年。学ぼう防災。守ろう命。」をキャッチフレーズに、国民一人ひとりの防災意識の向上に加え、地震火災対策の重要性を周知するため、以下の取組を行った。
 - 消防庁ホームページに関東大震災特設ページを作成し、関東大震災の概要、地震や地震火災への備え、自主防災組織等に関する情報、火災旋風の実験映像等を掲載
 - アニメ「め組の大吾 救国のオレンジ」とタイアップした関東大震災100年を伝えるポスターを作成
 - 消防庁の広報誌等の広報媒体を活用した広報を実施

など



【消防庁防災マニュアル～震災対策啓発資料～】



【地震火災対策をまとめたリーフレット「地震火災を防ぐポイント」】

(関東大震災特設ページから)

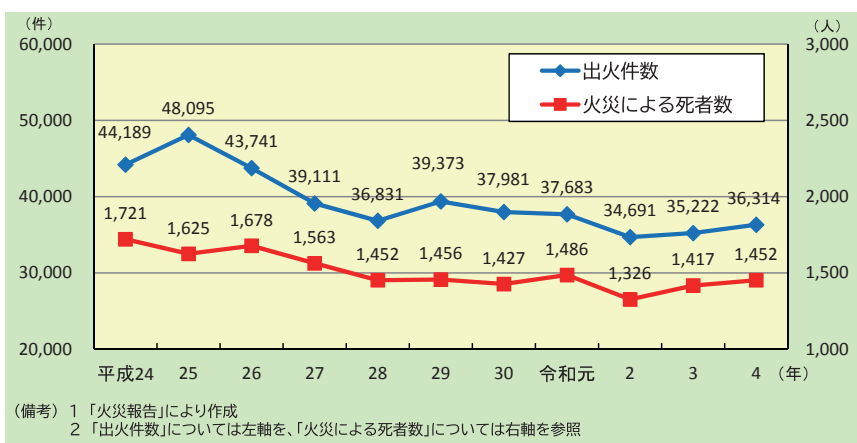
本編における主な統計数値等

火災予防 ～出火件数・火災による死者数～

- この10年間の出火件数と火災による死者数は、おおむね減少傾向。
- 令和4年中の出火件数は3万6,314件(前年比1,092件増加)であり、10年前の82.2%。
- 火災による死者数は1,452人(前年比35人増加)であり、10年前の84.4%。

【出火件数及び火災による死者数の推移】

(各年中)

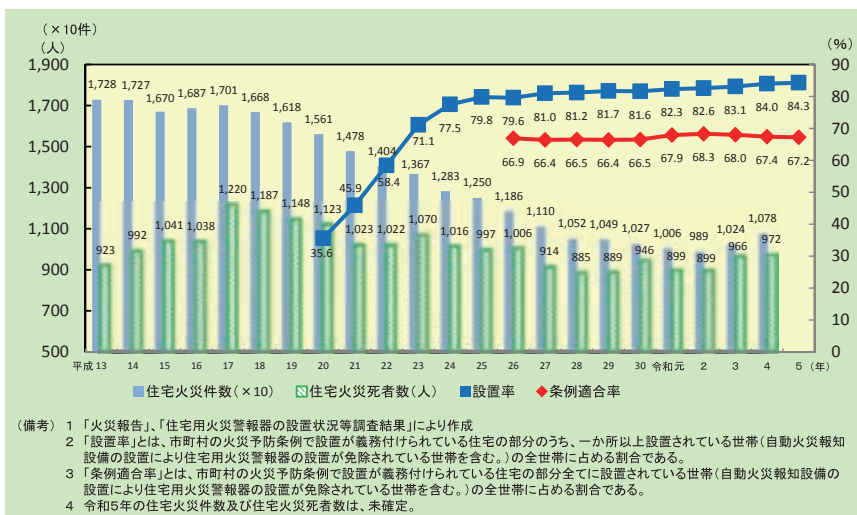


火災予防 ～住宅火災件数・死者数、住宅用火災警報器設置状況～

- 火災による死者の多くが住宅火災により発生。
- 令和4年中の住宅火災件数は1万783件(前年比540件増加)、死者数は972人(前年比6人増加)。
- 住宅用火災警報器の設置率は年々上昇しており、令和5年6月1日時点で全国の設置率は84.3%、条例適合率は67.2%となっている。

【住宅火災件数(放火を除く)・死者数(放火自殺者等を除く)、住宅用火災警報器設置状況の推移】

(各年中)



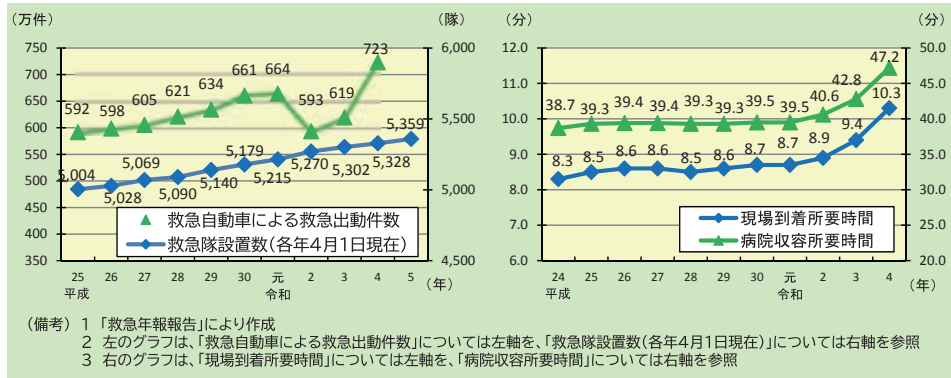
救急体制 ～救急業務の実施状況～

- 令和4年中の救急自動車による救急出動件数は、約723万件(前年比約104万件増加)。
- 救急隊は、令和5年4月1日現在、5,359隊(前年比31隊増加)設置されており、10年前と比較して約7.1%の増加。
- 令和4年中の現場到着所要時間の平均は約10.3分(10年前と比較して約2分延伸)。
- 令和4年中の病院収容所要時間の平均は約47.2分(10年前と比較して約8.5分延伸)。

【救急自動車による救急出動件数及び救急隊設置数の推移】

【救急自動車による現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移】

(各年中)

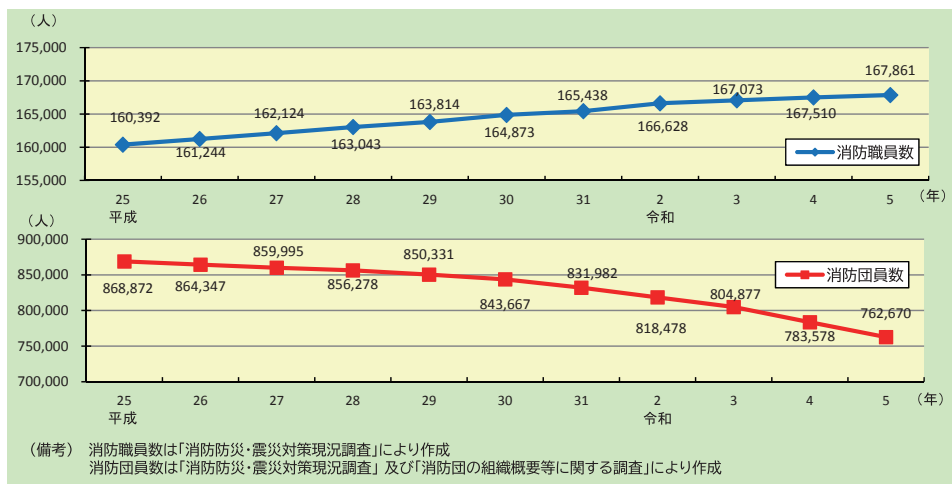


消防体制 ～消防組織～

- 消防本部(令和5年4月1日現在)
 - ・ 722消防本部、1,714消防署を設置。消防職員数は16万7,861人(前年比351人増加)。
- 消防団(令和5年4月1日現在)
 - ・ 消防団数は2,177、消防団員数は76万2,670人(前年比2万908人減少)。
 - ・ 消防団は市町村の非常備の消防機関。全ての市町村に設置。

【消防職員数、消防団員数の推移】

(各年4月1日現在)



令和6年3月1日(金)から7日(木) 春季全国火災予防運動を実施します！

総務省消防庁 予防課

【春季全国火災予防運動】

消防庁では、「火を消して 不安を消して つなぐ未来」を2023年度全国統一防火標語とし「春季全国火災予防運動」を実施します。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的として、3月1日から「消防記念日」である3月7日(一部地域を除く。)の間、毎年実施されているものです。



春季全国火災予防運動ポスター



全国統一防火標語ポスター

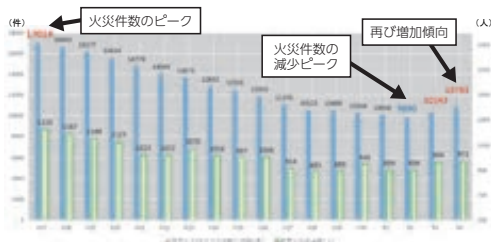
全国の火災の状況を見ると、住宅火災の件数は平成17年以降減少し、令和2年に初めて1万件／年を下回ったものの、令和3年及び4年は再び増加傾向にあります。年明け以降も、複数の死傷者を伴う火災が各地で発生する状況にあります。東京消防庁の例では、本年1月1日から15日までに管内で発生した住宅火災による死者数は、過去10年間で最多ペースで増加しています。

また、春の行楽シーズンを迎え山に入る人が増加するとともに、農作業のため枯草焼きなどが行われるに伴い、火の不始末や火の粉が山林に飛び火することなどにより、林野火災が増える傾向にあります。既に令和6年1月13日に広島県江田島市では、約240ヘクタールの林野が焼失する大規模な火災が発生したところです。

こうした全国の火災や最近の災害の状況を踏まえ、今回の運動では「住宅防火対策の推進」「林野

火災予防対策の推進」を最重点項目に定め、火災対策の推進を図ります。

火災による被害を軽減するためには、一人ひとりが普段の生活のなかで防火に対する意識を高め、火災予防の対策を行うことが重要です。住宅火災による死者の発生防止対策をまとめた「住宅防火 いのちを守る 10のポイント～4つの習慣・6つの対策～」を参考に身の回りの火災予防対策を確認しましょう。



住宅火災の件数は減少傾向にあったが、令和3年度から増加傾向に転じた。

死者数のピークは平成17年で、放火自殺者等を除いた死者数は、H17：1220人→R4：972人で約20%減であるが、900人を超える高水準で推移。

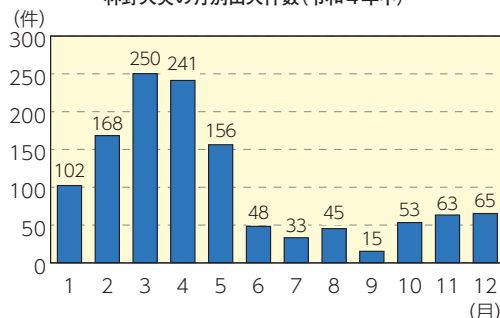
林野火災を防ごう！ ～全国山火事予防運動～

総務省消防庁 特殊災害室

1 林野火災の発生状況及び注意点

令和4年中の林野火災の出火件数は、1,239件(対前年比12件増)で、下図に示すとおり今の時期の2月から4月までの3か月間で半数を超える659件の火災が集中して発生しました。この原因としては、例年この時期に火入れが行われることや、山菜採りやハイキングなどで入山者が増加することによる火の不始末等が考えられます。

林野火災の月別出火件数(令和4年中)



令和4年中の林野火災発生状況をみると、焼損面積は605ha(対前年比184ha減)、死者数は13人(同2人増)、損害額は3億4,468万円(同1億6,826万円増)となっています。

区分	令和3年	令和4年	増減数	増減率
出火件数(件)	1,227	1,239	12	1.0%
焼損面積(a)	78,947	60,517	△18,430	△23.3%
死者数(人)	11	13	2	18.2%
損害額(万円)	17,642	34,468	16,826	95.4%

出火原因としては、「たき火」によるものが452件で全体の36.5%を占め最も多く、次いで「火入れ」、「放火(放火の疑いを含む)」、「たばこ」、「マッチ・ライター」の順となっており、人為的な要因による火災の割合は、全体の約69.6%を占めています。

令和4年中の主な出火原因	たき火	火入れ	放火(放火の疑いを含む)	たばこ	マッチ・ライター	その他	林野火災発生件数
	452件(36.5%)	241件(19.5%)	88件(7.1%)	47件(3.8%)	34件(2.7%)	377件(30.4%)	1,239件

このように人為的な林野火災を未然に防ぐためには、各自が次のような点に注意することが重要です。

【林野火災防止のための注意点】

- ・ 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ・ たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ・ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ・ 火入れを行う際は市町村長の許可を必ず受けるとともに、あらかじめ必要な防火対策を講じること
- ・ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ・ 火遊びはしないこと、また、させないこと

2 全国山火事予防運動(3月1日～3月7日)

消防庁では、広く国民に山火事予防意識の啓発を図るとともに、予防対策を強化し、森林の保全と地域の安全に資することを目的として、毎年、林野庁と共同で春季全国火災予防運動期間中の3月1日から3月7日までを「全国山火事予防運動」の実施期間と定め、次のような活動を通じて山火事予防を呼びかけています。これを機会に一層の取り組みをお願いします。

【全国山火事予防運動期間中における主な活動】

- ・ 全国の消防関係機関において林野火災の予防対策と警戒を強化
- ・ ハイカー等の入山者、地域住民、小中学校の児童・生徒等を対象とした啓発活動
- ・ 駅、市町村の庁舎、学校、登山口等への警報旗やポスター等の掲示
- ・ テレビ、ラジオ、有線放送、新聞、インターネット等の各種広報媒体を活用した山火事予防意識の高揚
- ・ 住宅地等に近接する森林での重点的な森林パトロールの実施
- ・ 農林業関係者等と消防関係者等が連携した消防訓練及び防火研修会の開催 等

令和6年 山火事予防の標語

「忘れない 山の恵みと 火の始末」

3 おわりに

林野火災は、急峻な地形や水利が限られることから、消火活動が困難な上、一旦発生すると人命や家屋等を危険にさらすほか、貴重な森林資源を大量に焼失し、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。

林野火災の大部分は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため、林野での火気の取扱いには十分気をつけましょう。

うちの

名物団員



新潟県

見附市消防団 副分団長

張戸 隆行

見附市消防団からは、張戸隆行さんを紹介します。

張戸さんは、自衛隊勤務から結婚を機に見附市に居住し、平成19年4月に当市消防団に入団。平成31年4月からは第6分団副分団長として地域住民の安心、安全を守っています。

小学校から陸上をはじめ、高校、自衛隊では長距離ランナーとして活躍。現在もマラソン大会や駅伝大会に出場し、昨年は市内駅伝大会で親子での襷リレーが実現しました。その技術と経験を生かし、地元中学校で外部指導者として陸上部を指導。多くの部員を大会で好成績を収めるまでに成長させるなど、消防団活動以外にも地域に貢献した活動を行っています。



「見附新聞11月9日発行より引用」

富山県

富山市消防団 八尾分団 部長

杉江 宏之

富山市消防団からは、八尾分団の杉江宏之部長を紹介します。

杉江部長は、30年の長きにわたり消防団活動に尽力されています。

普段は、表具店として掛け軸の修復や、襖、障子の貼替えを行うほか、さらには、いずれも江戸時代から続く、春の【越中八尾曳山祭】、秋の【越中八尾おわら風の盆】に「地方」として参加し、郷土芸能の保存や後継者の育成に貢献されています。

今後も地域のため、ますますのご活躍を期待しています。



邑南町消防団からは、三次宏昭副団長を紹介します。

三次副団長は、消防団入団39年目のベテランです。また、消防団員として地域を守るかたわら、地元で開催されるはすみリゾートまつり実行委員会や、INAKAイルミ実行委員会の委員長としても活躍されています。邑南町内でも人口減少が進んでいる羽須美地域で開催されるイベント運営のリーダー役として地元の焼き芋グループ「いも兄ちゃん」で出店もされています。



三木町消防団からは、小島里華団員を紹介します。

普段は、町内の幼稚園で教諭として働いており、子どもたちからも人気の先生です。

消防団活動では、その経験を活かし、保育所などでの防災教育を行っています。小島さんの紙芝居の読み聞かせは子どもたちも熱心に聞いてくれており、プロの技術を感じます。

これからも地域のため、子どもたちのため、活躍を期待しています。



消防団の広場

香川県「今後の消防団のために」

三木町消防団
団長

筒井 英明



三木町は、香川県の東部に位置しており、面積75.78km²、人口約27,000人、南には阿讃山脈を擁し、中央平野部には新川が流れる豊かな自然環境と隣接する県都・高松へのアクセスの充実など、生活面における利便性が調和した暮らしやすい町です。

三木町消防団は、6分団13部と女性部で構成され、団員総勢221名が安心して暮らせる町を目指し、災害時の出動をはじめ、地域の防災訓練への参加や、住民への火災予防啓発、消防署と連携した文化財防火デーでの訓練等、様々な取り組みを行っています。

令和4年9月に実施された香川県消防操法大会において小型ポンプ操法の部で出場しました。コロナ禍の影響もあり、選手のほとんどが初めて操法をする若手団員でしたが、出場経験のある団員による指導の成果もあり、素晴らしい操法を披露することができ、消防



団の結束と団員への頼もしさを感じました。

また、令和5年4月より女性団員4名が新たに加わり、台風での避難所対応従事や保育所での防災紙芝居の読み聞かせ、独居高齢者宅への防火訪問等を実施しました。女性団員が加入したことにより幅広い活動が行えるようになり、町民へさらなる貢献ができるようになりました。

全国的に団員数の減少や組織内の繋がり希薄化が課題となっていますが、当消防団でもその流れは避けられないものであると考えています。

しかし、町の安心・安全に消防団は欠かせない存在であり、存続のためにはこれからも時代に合わせて進化していく必要があると考えています。今後も、団員一人ひとりがスキルアップを図るとともに、消防団全体の結束を高め、より一層の消防団活動に精進してまいります。



2023年度 全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和 6 年 3 月の日本消防協会関係行事

- 3月4日(月) 消防育英会評議員会
3月7日(木) 全日本消防人共済会理事会
〃 日本消防会館建設運営委員会
〃 日本消防協会正副会長会議
〃 日本消防協会定時理事会
〃 日本消防協会評議員会
〃 全日本消防人共済会臨時総代会
3月8日(金) 第76回定例表彰式(ニッショーホール)
講演会

編集後記

2月上旬、大阪を訪問する機会があり、当誌歴代の編集担当者(前任 大阪府豊中市T.Kさん、前々任 滋賀県彦根市K.Mさん)にお会いしてきました。久しぶりにお酒を酌み交わし、花が咲くは懐かしい東京での話し。メに大阪名物「かすうどん」を頬張りながら、「かすはかすでもホンマのカスになったらあかんでえ!」と冗談を言いながらの楽しいひととき。本当にありがとうございました。

さて、先月号から連載の始まった「消防団加入促進への取組み」の反響も大きく、今月号も続いての連載となりました。日本各地の消防団が、時代の流れに乗った様々な活動を展開しており、その効果も徐々に現れ始めるのではないかと期待しているところです。(T.M)

「消防団の更なる充実に向けた」総務大臣書簡が、各県知事及び市区町村長に対し、令和6年2月6日付で発出されています。今回の令和6年能登半島地震の発災や「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の制定から10年を迎えたこと等を踏まえ、消防団の更なる充実に向けて、市区町村長等に対してより一層の取組を依頼する内容。併せて、消防団員の皆様に対して、深い感謝や敬意の念も表されるとともに、ご貢献に報いるべく、消防団のさらなる充実に向けて全力を挙げて取り組む決意も示されているものと理解。同日消防庁長官通知も出ていますので、併せて具体的な内容を確認いただければ幸いです。

連載企画「消防団加入促進への取組み」、今月号でも3消防団を紹介。巻頭言では、「8.5cm」の意味と覚悟を知り感銘を受けました。(Y.T)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,496円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9401

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十七巻第二号
令和六年二月五日印刷
令和六年二月十日発行

編集人 田中 豊
発行所 (公財)日本消防協会

東京都港区東新橋一丁目十九
電話 〇三(6263)九四〇一(代)

印刷所

東京都中央区銀座七丁目一六―二二
株式会社アイネット
電話 〇三(3549)五六〇〇

消防人の 火災共済

風水雪害等共済金 補償倍率UP

300倍から750倍へ

**消防団員
消防職員
なれどなたでも
加入できます**

まさかの時お役に立ちます。

地震等災害見舞金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い

1500倍補償

B型火災共済 消防団
消防本部 毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害にも対応!! 建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部（消防協会）へ。



ひまわりしているか
ひのようじん

お支払対象

- 火災共済金
- 風水雪害等共済金
- 地震等災害見舞金

火災・落雷・爆発・破裂
 風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
 地震・津波・噴火

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822
 詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率（年1.25％）、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円（ゆうちょ
銀行は五千円）から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金（6種類）又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金（脱退一時金）
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

（パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先）

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00～17:00

お問い合わせ先

（公財）日本消防協会

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19
 ヤクルト本社ビル内
 TEL.(03)6263-9401（代表）
<https://www.nissho.or.jp>

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会